

子育てサポート企業として「プラチナくるみん認定」を取得

株式会社日本触媒（本社：大阪市中央区、代表取締役社長：野田和宏、以下「日本触媒」）は、2025年12月に、厚生労働大臣より特例認定「プラチナくるみん認定」を取得しました。



「プラチナくるみん認定」は、次世代育成支援対策推進法に基づき、従業員の子育てを支援している企業に対して与えられる「くるみん認定」を受けた企業のうち、より高い水準で仕事と子育ての両立を支援する取り組みを行い、一定の要件を満たした企業に対して与えられる特例認定です。

日本触媒は、多様な従業員が自分らしく活躍できる組織を目指して、仕事と育児の両立を支援する取り組みを進めており、2012年に初めて「くるみん認定」を取得しました。2021年には人事部にD&I推進グループ（現 労政・D&I推進グループ）を設置し、多様な人材が活躍できる環境・制度等の整備、風土づくりの取り組みを進めてきました。こうした取り組みに加え、育児休職取得率（2024年度 男性97.8%、女性100%）や時間外労働時間（2024年度 一人当たり平均15.1時間/月）などの実績が評価され、今回の認定に繋がりました。

日本触媒は、2030年の目指す姿を描いた長期ビジョン「TechnoAmenity for the future」で3つの変革（事業の変革・環境対応への変革・組織の変革）を定めて取り組んでいます。このうち「組織の変革」では、仕事と育児の両立支援をはじめ、ダイバーシティ&インクルージョンの推進に力を入れて取り組んでいます。今後も、多様な人材が活躍できる組織を目指していきます。

関連リンク

- [ダイバーシティ&インクルージョン | サステナビリティ | 日本触媒](#)

この記事シェアする



本件に関するお問い合わせ

株式会社日本触媒 コーポレート・コミュニケーション部

お問い合わせ →

← 一覧へ戻る